

## 歯科矯正学（歯科医療の展開）

4 年次 後学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：葛西 一貴（歯科矯正学）
----------	----------------------------------------------

学習の目標 (GIO)	<p>歯科矯正学とは、歯、顎ならびに顔の正常な成長発育を研究し、それら諸構造の不正な成長発育から引き起こされる不正咬合や上下顎骨の異常な咬合関係を改善し、口腔の正しい機能を営ましめ、同時に顔貌の改善をはかり個人の福祉に寄与し、さらに不正状態の発生を予防するための研究と技術とを含めた歯科医学の一分科である。実際に歯科矯正治療を行うにあたっては、不正咬合がもたらす口腔機能障害や心理的障害を除去し、咬合を正常またはそれに近い状態に治すことである。</p> <p>授業内容は、総論として、歯科矯正学の歴史と定義、矯正治療の目的、成長発育概論、頭部の成長発育、歯列と咬合の発育、口腔機能の発育、咬合についての概論、正常咬合、不正咬合、診断法、不正咬合の原因および予防などである。また、診断学として診断学概論、診査、形態的・機能的検査、診断。さらに矯正治療における抜歯問題などを学ぶ。治療学として治療学概論、矯正力、矯正治療に伴う生体反応、固定、矯正治療用材料と器械器具、矯正装置、不正咬合の治療および保定などがある。</p> <p>不正咬合の治療としては、乳歯咬合期、混合歯咬合期および永久歯咬合期における治療を基本とし、それに加えて唇顎口蓋裂などに伴う治療、他科との共同による治療（外科的矯正法）筋機能療法を学ぶ。</p> <p>矯正治療は一般歯科治療と比べると治療期間が2年から3年と比較的長い。顎骨の発育異常を伴う成長期の患者さんでは、顎の成長コントロールに更に期間を要することになり、矯正医の管理下に置かれる期間が長期にわたり、患者さんの負担も決して少なくない。矯正医はここで学んだ基礎知識と技術を駆使して患者さんの治療にあたっている。講義ではたくさんの矯正治療症例を紹介するので、矯正治療に対する興味を持って頂きたい。</p>
授業担当者	葛西一貴，今村隆一，山口 大，五関たけみ，榎本 豊，齋藤勝彦，高橋 治
教科書	歯科矯正学 第5版（医歯薬出版）
参考図書	混合歯列期の矯正歯科治療（医歯薬出版） プロフィットの現代歯科矯正学（作田守監訳、クインテッセンス出版）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	中間試験(50%)と定期試験(50%)によって評価点とする。中間試験の結果に応じて、補講などの措置を講ずることがある。再試験の試験範囲は中間試験と定期試験の総合した範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	近年不正咬合が増加しているといわれているが、その原因と診断について楽しみながら学んでいただきたい。また、ダイナミックな歯の移動により得られたきれいな咬み合わせや顔貌の改善の様子などをみて、矯正学への興味を深めていただきたい。e-mailによる質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	(講義)第2回 ・頭蓋の成長発育 ・顎顔面の成長発育	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭蓋の成長発育についてその特徴を列挙できる。</li> <li>・上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳頭蓋と脳頭蓋底の成長発育様式について述べる事ができる。</li> <li>・顔の成長発育および口蓋裂の発生様式について説明できる。</li> </ul> <p>D-2-4)- ,F-2-3)- 必 6-B, 必 7-AB, 総( )-2-K, 総( )-1-G, 総( )-3-AB, 総( )-4-AB</p>	葛西一貴
10月9日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	(講義)第4回 ・正常咬合	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合の定義および顎位と咬合について説明できる。</li> <li>・咬合と顎運動について、関連する筋の主な名称や作用および閉鎖経路について説明できる。</li> <li>・Angle の分類および高橋分類などの不正咬合の診断について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常咬合の種類および矯正治療目標について説明できる。</li> <li>・正常咬合が成立し、かつそれが保持されるための条件を述べる事ができる。</li> <li>・永久歯列期の正常咬合の概念について説明できる。</li> <li>・不正咬合の病因、実態およびその疫学的特長を列挙できる。</li> <li>・個々の歯の位置異常およびその用語について説明できる。</li> <li>・上下歯列弓の咬合関係の異常について、先天異常も含めて説明できる。</li> </ul> <p>F-2-1)- ,F-2-2)- ,F-2-3)- ,F-4-1)- 必 7-B, 必 7-C-fg, 総( )-2-J, 総( )-3-ABEG, 総( )-11-ABE, 総( )-12, 総( )-2-C,I</p>	葛西一貴

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月16日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第6回 ・不正咬合の予防 ・診断 ・形態検査1	【準備学習項目】 ・乳歯列期における不正咬合の予防について説明できる。 ・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。 【講義】302教室 ・乳歯列期、混合歯列期および永久歯列期それぞれの時期における不正咬合の予防について説明できる。 ・初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。 ・一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。 ・顔面写真による顔面形態の検査について説明できる。 F-2-2)- ,F-2-3)- ,F-4-1)- 必6-B, 必7-BC, 必7-C-fg, 総( )-2-JKL, 総( )-3-ABEFGP, 総( )-12, 総( )-11-ABE, 総( )-2-CFGI, 総( )-2-DIJK, 各 -( )-1-CD, 各 -( )-2-AB	葛西一貴 五関たけみ
10月23日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第8回 ・形態検査3	【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。 【講義】302教室 ・頭部X線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 ・頭部X線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。 F-4-1)- 必6-B, 必7-BC, 総( )-2-JKL, 総( )-3-ABEFGP, 総( )-2-CFG, 総( )-2-DIJK, 各 -( )-2-AB	五関たけみ
10月30日(火) 2時間 13:00～14:50	【講義】第10回 ・機能検査	【準備学習項目】 ・種々の機能検査法について列挙できる。 【講義】302教室 ・顎運動の検査が矯正診断とどのようにかかわっているかについて述べることができる。 F-4-1)- 必6-B, 必7-BC, 総( )-2-JKL, 総( )-3-ABEFGP, 総( )-2-CFG, 総( )-2-DIJK, 各 -( )-2-AB	齋藤勝彦
11月6日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第11回 ・矯正力	【準備学習項目】 ・器械的矯正力について説明できる。 ・歯の移動様式について述べるができる。 【講義】302教室 ・機能的矯正力について説明できる。 ・顎整形力について説明できる。 ・傾斜移動と歯体移動について説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-3-AB	山口大
11月13日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第12回 ・矯正歯科治療における抜歯1	【準備学習項目】 ・矯正治療のための抜歯の目的を説明できる。 【講義】302教室 ・矯正歯科治療における抜歯の歴史について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-2-C	山口大
11月20日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第13回 ・矯正歯科治療における抜歯2 ・矯正歯科治療における固定1	【準備学習項目】 ・矯正治療のための抜歯の目的を説明できる。 ・固定の意義を説明できる。 【講義】302教室 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。 ・固定の種類 1) 部位による分類を説明できる。 2) 抵抗の性質による分類を説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-2-C, 各 -( )-3-D	山口大
11月27日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第15回 ・矯正歯科治療に伴う生体反応	【準備学習項目】 ・歯および歯周組織の構造を説明できる。 【講義】302教室 ・歯の移動に伴う圧迫側と牽引側の組織変化の特徴を説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-3-C	山口大

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月4日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第16回 ・治療学概論 ・治療計画の立案	【準備学習項目】 ・予防矯正、抑制矯正、限局矯正、本格矯正について説明できる。 ・各種不正咬合についてその特徴を列挙できる。 【講義】302教室 ・検査および症例分析の結果を総合評価できる。 ・矯正治療の開始時期と流れについて説明できる。 F-4-1)- 必9-B-e, 必10-G, 必14-B-c, 総( )-2-C, 総( )-1, 各-3, 各-( )-2, 各-( )-5-AB	榎本豊
12月11日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第18回 ・矯正用機械・器具2 ・矯正装置1 ・乳歯列期・混合歯列期の治療1	【準備学習項目】 ・混合歯列期に生じる不正咬合を列挙できる。 【講義】302教室 ・矯正用器材を列挙し、その特徴について説明できる。 ・乳歯列期における治療について説明できる。 ・乳歯列期の治療についてその概略を述べるができる。 ・混合歯列期の正中離開、前歯部叢生に対する対処法を説明できる。 E-1- ,F-4-1)- ,F-4-2)- 総(XI)-15, 各-( )-4, 各-( )-5-A	榎本豊
12月18日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第19回 ・矯正装置2 ・乳歯列期・混合歯列期の治療2	【準備学習項目】 ・機能的矯正装置の種類および作用効果について述べるができる。 【講義】302教室 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べるができる。 1)唇舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 2)顎外固定装置としてのヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 3)床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 4)Slow expansion と Rapid expansion の作用効果について述べることができる。 F-4-1)- ,F-4-2)- > 各-( )-4, 各-( )-5-A	榎本豊
1月8日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第21回 ・矯正装置4 ・永久歯列期の治療2 ・他科との共同による治療1	【準備学習項目】 ・Edgewise 装置の概略について説明できる。 ・口蓋裂の原因について説明できる。 【講義】302教室 ・Edgewise 法による治療の流れを説明できる。 ・アーチワイヤーの屈曲について説明できる。 ・Begg 法の特徴について説明できる。 ・各種不正咬合の治療を説明できる。 ・口蓋裂の治療法について説明できる。 ・唇顎口蓋裂患者の顎骨および咬合の特徴について説明できる。 ・唇顎口蓋裂患者の治療の流れについてその概略を説明できる。 ・口腔領域の奇形について述べることができる。 F-2-3)- ,F-2-4)-(7)- ,F-2-4)-(8)- ,F-4-1)- 各-( )-4, 各-( )-5-BCDE	齋藤勝彦 今村隆一
1月15日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第22回 ・他科との共同による治療2	【準備学習項目】 ・顎顔面領域の成長発育を説明できる。 【講義】302教室 ・顎変形症の原因、治療法について説明できる。 ・外科矯正治療の目的および適応症について述べることができる。 ・外科矯正治療の流れを他科との関連性を含め述べることができる。 ・成人矯正治療がかかえる諸問題を列挙できる。 ・口腔領域の奇形について述べることができる。 F-2-3)- ,F-2-4)-(7)- ,F-2-4)-(8)- ,F-4-1)- 各-( )-5-CDE	今村隆一

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月22日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	(講義)第24回 ・保定2 ・口腔筋機能療法	【準備学習項目】 ・矯正治療の後戻りの要因を列挙できる。 ・矯正治療に障害となる口腔習癖を列挙できる。 【講義】302教室 ・保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。 ・口腔筋機能療法について説明できる。 D-2-4)- ,F-2-1)- ,F-2-2)- ,F-4-1)- 各 -( )-5-AE,各 -( )-5-G	今村隆一 高橋治